

# 「令和6年度北海道青年海外派遣事業」 団員募集要項

## 1. 趣 旨

近年、本道において外国人労働力の受入れや、外国人留学生など高度人材の受入・地域への定着促進に向けた取組が着目されている状況のもと、HIECCでは本道の企業や大学などで活躍する人材を、特に受入人口が多いベトナム及びタイに派遣し、関係機関の視察や意見交換などを通じて、今後の両地域における経済人材交流の可能性に向けて情報を収集するとともに、異文化や国際交流等に対する理解を深め、国際的な視点に立って地域づくりを進める人材を養成し、地域の国際化の促進に資する。

## 2. 研 修 内 容

- ・ 経済交流・支援状況理解（JETERO、JICAなど）
- ・ 関係機関視察、意見交換（道進出企業、ビジネス協力員）
- ・ 人材交流関係機関視察（政府系人材開発機関、送り出し機関、日本語学校など）
- ・ 現地大学生との交流

## 3. 主 催

公益社団法人 北海道国際交流・協力総合センター

## 4. 後 援 （予定）

北海道

## 5. 派 遣 計 画

派遣国・主な訪問地	派遣人員	派遣期間
ベトナム（ハノイ） タイ（バンコク）	6名 〔団員 5名〕 〔引率 1名〕	令和6年 11月10日（日）～17日（日） 8日間

## 6. 参 加 資 格

- （1） 北海道に在住し、出発日現在20歳以上45歳位までの男女で、地域におけるリーダーとして活動が期待できる者。
- （2） 道内企業や団体、法人等に所属する社会人などで所属機関の推薦を得ている者。
- （3） 心身が健康で協調性に富み、団体行動に適応できる者。
- （4） 後記10に記載する事前研修に参加できる者。

## 7. 募 集 人 員

青年海外派遣団員 5名

## 8. 応 募 方 法

応募者は、次の書類をそろえて令和6年9月6日（金）までに、（公社）北海道国際交流・協力総合センターに提出する。

### (1) 提出書類

ア 参加申込書 (様式1)

イ 健康状態申出書 (様式2)

ウ 所属機関からの推薦書 (様式3)

エ レポート (様式自由)

① 題 名 「北海道青年海外派遣事業の応募にあたって」

② 記述事項

○応募の動機

○研修で学びたいこと

○研修後の活動の抱負

③ 字 数 400字程度とし、題名及び氏名を明記すること。

※上記様式は、北海道国際交流・協力総合センターのホームページより出力可

### (2) 提 出 先

公益社団法人 北海道国際交流・協力総合センター 管理チーム

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館12階

TEL (011)221-7840/FAX (011)221-7845/E-mail:kaneko@hiecc.or.jp

## 9. 団 員 の 選 考

(1) 団員は、提出された書類により選考する。

(2) 選考結果は本人に文書で通知する。

## 10. 事 前 研 修

(1) 本事業の趣旨、内容、訪問国の実情等の理解を深めるとともに、団員としての心構え及び団体行動のあり方について事前研修を行う。

(2) 実施予定

日時 10月下旬（予定）

場所 北海道国際交流・協力総合センター

(札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館12階)

※ 遠方からの参加者はZOOMでの参加も可

## 11. 団員の取り消し

団員に決定された後でも団員として不適格と認められた場合は、その決定を取り消すことがある。

## 12. 経 費

(1) 団員は参加経費として、次の負担金を北海道国際交流・協力総合センターに納入すること。

なお、前記11及び本人の都合による不参加の場合の負担金の取り扱いについては、北海道国際交流・協力総合センターが別途決定する。

参加者負担金	納 入 期 限
17万2千円(予定)	令和6年10月下旬 (事前研修会開催日)

(2) 負担金の中には、新千歳空港発着の航空賃等移動費のほか、期間中の宿泊費、見学費、食事代を含むものとする。

(但し、食事代の一部のほか、パスポート取得費用、海外旅行傷害保険料、出国に伴う個人的諸経費を除く。)

(3) ホテルはシングル利用。

## 13. 報告書の提出

団員は、帰国後別に定める期限までに、報告書(レポート)を北海道国際交流・協力総合センターに提出するものとする。

## 14. 事後活動

団員は、研修後、それぞれの地域において、さまざまな国際交流活動などに積極的に参加するなど、地域における国際化の進展に貢献すること。

## 15. そ の 他

本事業は旅行会社による手配旅行として実施し、現地ガイドが同行する。